

卓越した技術で環境耐久試験ルームを製造 経営理念実現のため常に生産性向上に取り組む

創業当時は木製品製造業であったが、取引先からの木枠の断熱パネル製造依頼を機に独自断熱パネル製造を開始。現在では、大手企業の新商品研究・開発等にかかる環境耐久試験ルームの製造を行う。非常に高い技術を持ち、自動車やスマートフォンなどのハイテク機器の極限環境耐久テストに使用される他、日本の南極観測隊が使用する-60℃酷寒地用試験ルームと昭和基地にも当社製品が採用されるなど、世界的に見てもトップレベルの環境再現断熱パネル製造技術を有している。

所在地 静岡県藤枝市横内1086-1
電話/FAX 054-641-2329/054-643-9104
URL <https://www.touzaikougyo.co.jp>
代表者 代表取締役社長 杉山 友紀

設立 1969年
資本金 4,000万円
従業員数 54人



飽くなき付加価値向上によりサプライチェーンから消費者まですべてを幸福に

代表者の理念である「仕入先への高付加価値部品等の供給に見合う対価の支払い」「仕入れ部品等の品質向上および自社努力による自社製品の品質向上」「自社製品の品質向上による研究開発躍進」により、サプライチェーンから消費者すべての幸福を実現することを目指している。圧倒的な技術力と、企業の新商品開発・研究が行われる際には業種問わず参加できる強みを有するが、これに慢心せず、自社と比べて小規模な同業他社へ工場見学させてもらい、よい点を随時取り入れるなど、常に付加価値向上を考えている。



南極・昭和基地で採用される当社製品

技術力を新分野にも展開、業務の幅が広がり付加価値がさらに向上

高い性能を持つ試験ルームの製造にはパネルの製造技術だけでなく、パネルを合わせるフィッティングと呼ばれる技術も要求される。その技術を見込まれ、日本科学未来館で2019年に開催された「マンモス展」のショーケースの開発・設置や沼津港深海水族館で展示されている360度見えるショーケースの開発・設置を行った。本業のパネルとはまったく違う材質であったことから試行錯誤を重ねたことで、新たな知識の習得や業務の幅を広げ、技術的な付加価値を高めることにつながった。



マンモス展のショーケース

管理業務のIT化によりコスト削減だけでなく製造や研究開発の時間を確保

業務効率化の観点での生産性向上も常に検討、実行をしている。直近では2020年10月にQRコード管理システムを導入、在庫すべてをリアルタイムで管理するようになった。今までは現場の社員が週末と月末に紙ベースで在庫管理を行っていたが、この改善により管理業務の削減、仕入れコストの削減が可能となった。加えて製造設置にかかる材料費、労務費、外注費の予測計算ができるようになり、コストを明確化することができた。製造や研究開発にかけられる時間の増加にも繋がっている。



常に付加価値向上に取り組む本社工場